

(件名) 鹿児島県の更なる文化芸術振興についての陳情書

(陳情の趣旨)

鹿児島県では、第2期鹿児島県文化芸術推進基本計画にのっとり、文化の薫り高いふるさとかごしまの形成に向けて日々ご尽力いただいているところです。

さて、私ども鹿児島県子ども劇場協議会では、定期的な舞台鑑賞活動と自然体験活動による子ども達の豊かな育ちを願い、県内9か所で約1,500人の会員が活動をしています。これまで55年間の活動の中で、乳幼児期からの豊かな文化環境の中で育つ子ども達が、基本的な自己肯定感と人の信頼感を育んでいくことに加え、わが子だけに向かっていた親の視線が、子どもの成長と共に地域の子どもの愛情へと少しずつ変化していく様子を実感してきました。特に毎年『子ども芸術祭典』や『地域の遊び会』では、子ども達の文化環境が豊かになるように地域に働きかけながら活動しているところです。

このような状況のもと、文化芸術体験を更に多くの子ども達や子育て中の大人達に広げていくために、塩田県知事に対しまして、本県の更なる文化芸術振興について、下記内容の要望書を提出させていただいたところです。

つきましては、県議会におかれましても、本陳情の趣旨についてご理解・ご協力を賜りますよう陳情いたします。

記

1. 鹿児島県内の小・中学校の舞台鑑賞の機会を増やしてください。

小・中学校の舞台鑑賞機会は、担当の先生の努力で支えられていますが、ほとんどが助成金によって舞台鑑賞の機会が得られているという実情です。小さいときに観た舞台により、つらい日常だったけれど「世界は広くて、夢がある」と信じて生きてこられたという話を聞いたことがあります。子どもにとって、舞台は生きる活力であることについて、是非ともご理解をお願いいたします。

2. 舞台芸術鑑賞を促すために、18歳以下の子ども達に対する鑑賞料金の支援をお願いします。

本県では、基本方針1に文化芸術の鑑賞機会の充実を挙げています。しかし家庭の理解や金銭的な負担もあって、子ども達には体験格差がますます広がっているとも言われています。学校での鑑賞活動も毎年保障されているわけではありません。文化芸術に幼少期から親しむことは、その後の豊かな人格形成へと繋がり、明日を切り拓く力ともなるでしょう。例えば新年度に文化芸術体験のできるキップを配布するなど、家庭環境に左右されず、誰でも文化芸術を体験できる環境づくりをお願いいたします。

3. 乳幼児からの初めてのアート体験を増やしてください。

本県では、子どもたちや子育て世代の養育者が文化芸術に親しむことを施策の課題として掲げられています。その内容の一つに、乳幼児からという視点を加えていただきたいで

す。例えば、0歳から2歳あるいは3歳向けのベイベーシアターは、世界中で広がりを見せていますが、まだ周知されていません。1回12組から40組で行われる演劇はとても商業ベースでできるものではなく、行政の支援なしには広がっていきません。

ベイベーシアターは、親子が安心して心を通わせ、わが子がいとおしいと思える幸せな空間を他者と一緒に体験できる場であり、赤ちゃんにとっては、すべての感覚器官を育て、人と関わりあう原体験となる芸術であることを、是非ともご理解ください。

4. 教育施設のさらなる使用促進をお願いします。

グラウンドの使用や体育館の使用など、学校長の判断で利用できる機会も多くなっていますが、体育館のスポーツ目的以外での使用が難しかったりする場合もまだあります。

また、開催事業に参加料金が発生すると使用が難しい場合もあります。事業開催には、費用はつきものです。無料開催は、助成金無しには開催できません。教育使用については、さらにハードルが高くなります。学校が地域住民にとって、さらに開かれた文化拠点の一つになるよう施策を願います。

5. 『鹿児島県子ども芸術祭典』への助成金の増額をお願いします。

鹿児島県子ども劇場協議会では、「県内すべての子ども達に優れた生の舞台芸術を届けよう」と、市町村地域住民と共につくる『芸術祭典』（今年度39回）、中・高・青年対象の『高学年子ども芸術祭典』と表現活動の『ティーンズアートフェスティバル』（昨年24回）を行ってきました。今年の第38回子ども芸術祭典は県内で95ステージ開催し、これまでの鑑賞者数は約659,166人になりました。3世代で鑑賞したり、小さい時に観ていたもので子どもと観たいと連れてくるお母さん方の姿もみられ、文化の広がりを感じています。この事業は、子どもを真ん中に舞台芸術で地域の人々をつなげる地域づくりにもなっています。しかし、毎年地域の母親を中心に、ほぼボランティアで関わっており、地域の子どもを思う大人の気持ち一つで支えられているという実態です。鹿児島県には、毎年助成金をいただいておりますが、わたくしたちの事業にご理解いただいておりますが、現時点においては、県内隅々までには届けられていないというのが実情です。ぜひ、年に1回は子ども達が舞台芸術に出会えるように助成金の増額をお願いします。

以上